麻生区区民会議　第１８回 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨

１　開催日時：平成２６年３月１０日（月）午後６時００分～午後８時３０分

２　開催場所：麻生区役所第４会議室

３　出席者：［専門部会委員］

石井委員、金光委員、菅野委員、菅原委員、高橋（慶）委員、高橋（庸）委員、武濤委員、東川委員、矢野委員、山田委員

［事務局］

鈴木企画課長、白石係長、藤江、桑原

田中地域振興課長、金子係長

４　傍聴者：１名

５　議　事：

（１）　しんゆり・芸術のまちづくりフォーラムのあり方検討経過について（区役所地域振興課説明）

【説明事項】

※地域振興課より、平成26年度麻生区の芸術・文化のまちづくり（案）について説明があった。主な内容は以下の通り。

「行政主体の取組」（麻生区の芸術・文化の推進に関する意見交換会等）

「連携した取組」（（仮称）あさお・芸術・文化交流カフェの開催等）

「地域主体の取組」（イベント支援、新百合ヶ丘駅周辺におけるまちづくり等）

※　第３期区民会議提言の反映状況は以下の通り。

１）２６年度は、区の芸術文化を所管する地域振興課が、第３期区民会議提言を踏まえて（案）のとおり事業推進し、芸術・文化のまちづくりを進めていく。

尚、文化担当官の設置に関しては、今回は設置されないが、平成２６年に新たに設置される「麻生区の芸術・文化の推進に関する意見交換会」などでの幅広い議論の中で検討を期待。

２）(仮称) 麻生文化会議よりは少し緩やかな形でのネットワークづくりとして (仮称) あさお芸術・文化交流カフェを開催

３）情報発信・活性化

行政主体の情報発信として、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルの柱を利用した広報事業

【質疑応答】

Ｑ「地域主体の取組」に「ホームページのリニューアル」とあるがどこがやるのか。

Ａ 区の事業だが、NPOへの委託を予定している。

Ｑ「地域主体の取組」の「新百合ヶ丘駅周辺におけるまちづくり」は、「一般財団法人川崎新都心街づくり財団・TMO（タウンマネージメント組織）を中心とした展

開を図る」とあるが、それ以外の取組については、NPO法人しんゆり・芸術のまちづくりが主体になるという理解でよいか。

Ａ その通り。

Ｑ 「行政主体の取組」は地域振興課が主体となるのか。

Ａ その通り。予算を取って実施していく。

Ｑ 「連携した取組」の「（仮称）あさお・芸術・文化交流カフェの開催」はどういう形態でやるのか。

Ａ 市民センターで、立食でお食事をしながら団体が活動をアピールしたり交流したりして、横のつながりをつくるというカフェを実施している。同じものということではないが、そのようなイメージを持っている。第３期区民会議に提案いただいた「（仮称）麻生文化会議」よりももう少し緩やかな形でのネットワークづくりを考えているが、手法については様子を見て検討したい。

Ｑ 「地域主体の取組」の一部に「地域ブランドの確立」とあるが、麻生区の目指す芸術、つまりコアになるものはあるのか。目玉となる芸術を育てる必要があるのでは。

Ａ 麻生区の芸術・文化のまちづくりは、もともと地域で多数開催されているコンサートなどにKiraraアートしんゆり、アルテリッカしんゆりなどが加わって形づくられてきたものという経緯があり、何かに特化しているということではない。

Ｑ 人材育成の視点はあるのか。コンテストなどを開催しマスコミの注目を浴びることで、（芸術・文化のまちづくり）の方向付けができるのではないか。

Ａ 人材育成も必要と考えているが、コンテストの開催など具体的なことはまだ考えていない。麻生区の芸術・文化のまちづくりはここ数年停滞しており、新しいことは実施してこなかった。芸術・文化のまちづくりは、様々な自治体でも標榜しているため、何か色を出していくことも必要とは考えている。

Ｑ ヒアリング結果からは、活動団体の練習場所が不足しているという意見があるが、施設の空いている時間を有効に使えるような仕組みはできないのか。

Ａ 練習場が足りないことは把握している。関連施設情報に空き情報等は盛り込む予定。情報が行き渡る取組をしていきたい。

Ｑ 区内には芸術関係の人が出入りできる拠点はあるのか。

Ａ 麻生区では、アートセンターが芸術文化の拠点となるのが一番の理想。そのきっかけづくりとしてカフェの開催を検討している。

Ｑ 麻生区の芸術文化行政の所管課は、地域振興課という理解でよいか。

Ａ これまでも地域振興課が所管課であり、２６年度はお示しした内容で事業実施していく。

（そのほかの意見）

・芸術・文化のまちづくりの取組の全体像がわからない。区外の人から聞かれたときも答えられるよう、わかりやすいパンフレットを作成してはどうか。情報は早いスピードで更新されるのでパンフでは追いつかない。ＨＰならリニューアルできるのでは。

・ 区民が芸術・文化のまちづくりを知るために、地域振興課にはもっと表に出てきて欲しい。

（２） 企画部会からの報告事項

【説明事項】

※金光委員より、企画部会での協議事項について報告があった。主な内容は以下の通り。

（安全・安心のまちづくり部会）

・モデル事業のまとめの段階であり、提言内容について検討中。

・家具転倒防止等についての小学校への出前講座などを検討している。

・2/3に園田先生のところに伺い、区民へのＰＲ方法についてアドバイスを求めたところ、戦略的かつ具体策の提示ということで、具体的な家具倒壊防止費用や道具の周知など、「レシピ的」なものにしてはどうか、ということだった。

・ 提案がまとまっていないため、継続審議予定。

・ あさお子育てフェスタにて、家具転倒防止モデル事業の説明をさせて欲しいとの依頼あり。

・啓発資料はまだ出来ていない。

・フォーラムにおいて先生に対する批判があったが、公文書には掲載しない。

（区民会議ニュース）最後のニュースとなる。提言内容を掲載する。

（報告書）資料編については、各部会で検討・訂正する。

（その他）5/12(月)合同会議、5/26（月）全体会　最終報告書の確認、提言書の区長提出

（３） 調査審議課題の具体的検討について

１）「あさお子育てフェスタについて」

【説明事項】

※ 事務局より、資料３をもとに「あさお子育てフェスタ第２回検討会」について報告があった。

※ コンサルより、資料４をもとにアンケート修正案の説明があった。

【主な意見】

（開催に向けた検討）

・第５会議室には、社協ではなく児童家庭課のマットを使う。

・フリーマーケットは56人の申し込みがあり、キャンセル等も想定の上全員受入れる方向。

・第１会議室には15脚の椅子を追加する。

・配付物は、アンケートとパンフレットとする。

（アンケートの検討）

・保育所の満足度について聞きたい。

→過去の部会協議にて保育所については検討しないこととしている。また、満足度を聞いた結果に応えられないとアンケートの意味がないため、保育所については目を向けない。

・芸術文化のアンケートについては、子育てに関連した内容に特化するのか。多くの市民が楽しめる文化芸術の取組を検証するという目的ではないか。

・「駅前のアート展示」という選択肢は麻生区にはそぐわない。選択肢の検討は武濤委

員に一任する。

・現時点では現状案とし、「子育てしやすいまちづくり」「芸術文化のまちづくり」部分のアンケート項目等について適宜修正する。

・運営側へのアンケートは、記述式としてはどうか。

（芸術文化イベント情報の掲示について）

・掲示＋ハンドアウト＋ＨＰ掲載とするのか。

→ＨＰは、あさお子育てフェスタのページに掲載する。

・デザインについては、4月初頭に昭和音大の学生にデザインを依頼する。

２）提言のまとめに向けて

・芸術文化：本部会後検討

・子育て：アンケート結果を踏まえて集約

・提言のフォーム：各部会で１ページ

３）そのほか

（報告書）

・第３章は全体会に出した内容で承認を得ている。

→修正があれば事務局まで。

・資料編のヒアリング結果は見難いので一覧性のあるＡ３ウラオモテとする。但し、字は少し大きくした方が良い。文章は明朝体で統一する。

（次回部会）　４月７日（月）18:00～

（全員ワーキング）４月21日（月）18:00～、４月28日（月）18:00～

以上